

小鷹井堰地点らせん水車導入実証事業に関する基本協定調印式

- 薩摩川内市は、市民に対する普及啓発や指定管理施設(物産館)の電気料金の軽減を図るため、日本工営と共同で小水力発電設備(らせん水車:30kW規模)の実証事業を行う。当該規模のらせん水車の実証事業は、日本初の試み。
- 期間は本年度より平成27年度まで。なお、本事業は経済産業省の補助事業に採択されている。
- 去る10月31日(木)、日本工営との間で、実証事業に関する基本協定調印式を実施した。

基本協定調印式の様子



ドイツで使われているらせん水車 (日本工営提供)



(参考)
らせん水車は、農業用動力源として、戦前脱穀等に活用されてきた。